

はじめに

令和3年度一年を通して、依然として新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けており、特にオミクロン株の流行によるまん延防止等重点措置が長期にわたり、食堂事業では、利用者の減少、神戸ポートオアシスの利用制限など厳しい状況がつづきました。一方、世界的な気候変動などに伴う原材料価格の高騰、ロシアのウクライナ侵攻の勃発など地政学リスクによるエネルギーの逼迫、さらに急激な円安の進行、インフレーションが助長され経営環境は厳しさを増しています。

さて、このような情勢の中にあります。神戸港の令和3年の累計コンテナ取扱個数は、282万3,774個となり前年比5%の増加という明るい兆しが見えて参りました。米国の需要の拡大が続いており、取扱貨物量の増加が期待できるものと思います。神戸港の取扱貨物の増加は、神戸港関係者皆様による集荷・創貨・競争力強化の取組みと、現場での堅実で高品質な作業の成果であります。当協会としては、この取組みを地道にささえる事業を持続・発展させてまいります。特別に令和3年度は、港湾関係者の職域接種事業に参画いたしました。

主たる事業の食堂事業においては、利用者数が633千人から607千人へと減少いたしました。売上高は、令和2年度とほぼ同額の2億5千4百万円を確保することができました。これも、皆さまのご理解とご協力を得て、一昨年10月から価格を改定させていただいたお蔭です。コンビニの売上は、前年比5%の増加となっております。今後とも、皆さまに喜ばれるメニュー提供、満足いただけるサービス向上に努めて参りますので、引き続きご利用の程よろしく願いいたします。

住宅事業でございますが、建築から50年を経過する建物が多くあり、日本港湾福利厚生協会の施設整備助成金を活用して大規模な改修工事を実施し利用促進に努めているところです。国産波止場共同住宅については、都心ウォーターフロントに位置し立地の良さから使用できる住宅はほぼご利用いただいている状況です。一方、北区の住宅につきましては、利用が伸び悩んでいる状況にあります。特にファミリー向けのコーポ西町については、入居率が50%を切り低迷しております。このような施設の活用が課題であると認識しております。

さて、協会の令和3年度の決算は、収支ベース（収支計算書参照）で、138,515千円の黒字となりました。これは、旧雇用促進事業団から返還された用地を売却し、その利益を計上できたからです。不要な資産は処分し、当面事業運営に支障ない資金については、堅実に運用し少しでも収益を上げていくことが肝要と考えております。

神戸ポートオアシスの指定管理事業は、令和3年4月1日から指定管理者として2期目（5年間）に入りました。この1年間は新型コロナウイルス感染症による使用制限を受けるなか、対策に万全を期し開館してまいりました。引き続き、港湾労働者のための福利厚生施設、港湾地域での市民の交流の場としての役割を果たせるよう全力で取り組んで参ります。

I 事業報告

1. 施設管理運営事業

(1) 総合厚生施設（神戸ポートオアシス）の管理運営

弊協会は指定管理者として、「神戸ポートオアシス」の管理運営を利用者の立場に立ったサービス提供を行ってまいりました。

令和3年度は新型コロナウイルスの感染予防のため、各種イベント等の開催自粛などによりご利用が減少しました。このような状況の中、感染予防にご留意いただきながら、会議室では講演会、各種会議、販売展示会や採用選考会など、多目的ホールではライブ配信を含めた演劇・コンサート、ピアノ教室やダンスの発表会、研修会、入学式等の学校行事などにご利用いただきました。



多目的ホール

新型コロナウイルス感染症対策としては、神戸市が策定する「新型コロナウイルス感染症対策における神戸市の対応方針」や「感染拡大予防にかかる施設利用指針【貸会議室・劇場等共通】」を踏まえ実践するとともに、飛沫感染防止のためのアクリル板、非接触型温度計、自動アルコール噴霧器等の貸出対応にあたりました。また、インターネット環境を整備し、ライブ配信やオンライン会議の需要に応え、利用促進を図りました。



- ・非接触型温度測定器
- ・自動アルコール噴霧器



その他の感染予防貸出し品



会議室



ライブ配信の様子

(2) 食堂（ピアハウス）の管理運営

兵庫ふ頭から六甲アイランドまでの神戸港地域に設置のピアハウス9ヶ所の管理運営を行いました。各ピアハウスとも清潔、安全・安心な食事の提供、元気で明るいスタッフがお迎えし、港湾労働者の皆さまを中心に多くの方々にご利用いただきました。

また、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大による、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」発出の影響により、厳しい状況が続く中、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒やマスクの着用、余裕をもった座席空間の確保、ホールの換気などの徹底を図りました。

また、これら安全・安心な食事環境の提供の取り組みと併せて、9店舗共通で月替わり特別ランチ「得ラン」の提供を引き続き実施いたしました。

令和3年度のピアハウス全体としての経常収益は、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響もありましたが、25,550万円（前年度25,667万円）と対前年度比0.46%の減収にとどまりました。



ピアハウス・ポーアイ（食堂ホール）



ピアハウス・ポーアイ（令和3年6月改修）

(3) コンビニエンスストア（ピア）の管理運営

港湾の364日24時間荷役に対応するため、神戸港の西部・東部地区に拠点設置している2ヶ所のコンビニエンスストアを引き続き運営しました。

新型コロナウイルス感染症拡大による、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」発出の影響下において、コンビニエンスストア両店とも微増となりました。

また、各店舗独自の販促イベントの実施や、新型コロナウイルス感染症対策として、イートインコーナーには、飛沫感染防止等の対策を実施し、安全・安心な食事環境を提供いたしました。

令和3年度のコンビニエンスストア全体の経常収益は、33,109万円（前年度31,507万円）と対前年度比5.1%の増収となりました。



ピア兵庫店



ピア六甲店

(4) 住宅施設の管理運営

鈴蘭台一ツ鉾山共同住宅（196戸）、国産波止場共同住宅（165戸）及びコーポ西町共同住宅（40戸）の共同住宅について、より快適な生活・住環境を提供するため維持補修など万全を期し一層の利用促進を図ってまいりました。

なお、国産波止場共同住宅については、平成29年度から浴槽及び給湯器を協会予算で順次設置し（96戸整備済）、住環境の改善による入居率・収益性の向上に努めました。

令和3年度の入居率は、鈴蘭台一ツ鉾山共同住宅52.6%（前年度57.7%）、国産波止場共同住宅86.7%（前年度86.7%）、コーポ西町共同住宅32.5%（前年度30.0%）となりました。



(5) 港湾労働者休憩所の管理運営（実施事業等会計）

令和3年度も神戸市からの業務委託（772万円 消費税込み）を受けて、港湾労働者休憩所18ヶ所（兵庫、新港、摩耶、ポートアイランド及び六甲アイランドの各地区に設置）の清掃、冷暖房設備の運転・維持管理及び湯茶の提供等の管理運営を行うことにより、港湾関係労働者の福利厚生に取り組みました。

2. 施設整備事業

(1) 港湾厚生施設整備事業

既存厚生施設について、令和3年度も施設の改修及び維持保全に努めてまいりました。

(2) 日港福助成施設整備事業

施設整備事業として、令和3年度も（一社）日本港湾福利厚生協会からの助成を受けて、次の整備事業を実施し、港湾関係労働者の生活・住環境等の改善を図ってまいりました。

<工事名>

① 鈴蘭台一ツ釜山共同住宅1~6号棟流し台改修他工事

工 期：着手 令和3年 7月28日 ・ 完成 令和3年12月15日

設計監理費： 4, 224, 000円（消費税込み）

改修工事費： 55, 880, 000円（消費税込み）

財 源：（一社）日本港湾福利厚生協会 60, 104, 000円

② ピアハウス・ポーアイ厨房改修他工事

工 期：着手 令和3年 4月 3日 ・ 完成 令和3年 6月17日

改修工事費： 13, 200, 000円（消費税込み）

財 源：（一社）日本港湾福利厚生協会 13, 200, 000円

③ ピアハウス・エイト厨房改修他工事

工 期：着手 令和3年11月20日 ・ 完成 令和3年12月10日

改修工事費： 11, 000, 000円（消費税込み）

財 源：（一社）日本港湾福利厚生協会 11, 000, 000円

④ 労働者休憩所及びコンビニ防潮止水板設置工事（兵庫及び六甲地区）

工 期：着手 令和3年 6月 3日 ・ 完成 令和3年 7月21日

設置工事費： 11, 304, 700円（消費税込み）

財 源：（一社）日本港湾福利厚生協会 11, 304, 700円

3. 助成・補助等事業

(1) 契約保養施設利用助成（実施事業等会計）

福利厚生の一環として、契約保養施設（全国104ヶ所）の利用に対して助成を行うことにより、神戸港で働く方やそのご家族の余暇の活用等福利厚生を促進を図ってまいりました。

令和3年度の利用状況は、855名（前年度942名）、助成額は240万円（前年度267万円）、対前年度比10.1%の減少となりました。

(2) 各種技能訓練への補助（実施事業等会計）

港湾労働災害防止協会兵庫県総支部が実施する各種技能訓練への補助を行うことを通じて、港湾関係労働者の技能の向上を側面的に支援し、神戸港における港湾運送事業の発展に努めてまいりました。

(3) 港湾殉職者慰霊祭の実施

第42回港湾殉職者慰霊祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、港湾殉職者顕彰碑運営委員会との協議のうえ、令和2年に続いて中止といたしました。

また、関係者のみでの顕彰碑への献花、拝礼を令和3年11月25日に実施し、殉職者の慰霊とともに、一層の労働災害防止意識を高めることを誓いました。



神戸港港湾殉職者顕彰碑
(ポートアイランド北公園)

4. 新型コロナウイルスワクチン接種実施支援事業

兵庫県港運協会と一般財団法人サニーピア医療保健協会が共同で実施した「神戸港港湾労働者の新型コロナワクチン職域接種」を支援するため、神戸市及び一般財団法人サニーピア医療保健協会とそれぞれ協定を締結し、職域接種が円滑に行えるよう、①医師の確保（国立大学法人神戸大学所属医師の委嘱）、②看護師の確保（雇用）、③消耗品等必要物品の確保（調達）、④賠償責任保険の付保、⑤接種事業への立会、⑥必要経費の受け入れ及び支払いを行った。

「神戸港港湾労働者の新型コロナワクチン職域接種事業」の概要は次のとおり。

(1) 事業実施主体

兵庫県港運協会、一般財団法人サニーピア医療保健協会

(2) 事業実施期間及び接種実施日

令和3年7月5日（月）～令和3年8月27日（金）のうち、土曜日、日曜日、祝日、8月13日を除く36日

(3) 実施場所

神戸ポートターミナルホール（神戸市中央区新港町4-5）

(4) 接種人数

第1回目1,500人、第2回目1,500人 延べ3,000人

(5) 接種ワクチンの種類

モデルナ社製 mRNA ワクチン

(6) 接種医療従事者

毎日、医師2名及び看護師6名体制で接種実施。

医師1名及び看護師2名は、一般財団法人サニーピア医療保健協会より派遣。

医師1名は、国立大学法人神戸大学医学部より派遣。

看護師4名は、一般財団法人神戸港湾福利厚生協会雇用の看護師を充当。



受付・接種前待機



接種の様子



接種後待機

5. 各施設の事業成績

(1) 総合厚生施設及びピアハウスの事業成績

① 食堂

区分 施設名	食堂利用者数			収入（単位：万円）		
	令和3年度	令和2年度	前年度比	令和3年度	令和2年度	前年度比
ピアハウスオアシス	77,630名	75,800名	102.4%	3,371	3,171	106.3%
ピアハウスひょうご	45,955名	54,316名	84.6%	1,905	2,134	89.2%
ピアハウスエイト	50,656名	53,834名	94.1%	2,067	2,141	96.5%
ピアハウス摩耶1	51,928名	58,924名	88.1%	2,172	2,357	92.2%
ピアハウスポーアイ	43,306名	55,461名	78.1%	1,831	2,263	80.9%
ピアハウスポーアイ2	78,741名	71,699名	109.8%	3,217	2,745	117.2%
ピアハウス六甲1	90,256名	92,405名	97.7%	3,722	3,698	100.7%
ピアハウス六甲2	92,883名	96,401名	96.4%	3,867	3,840	100.7%
ピアハウス六甲3	76,096名	74,297名	102.4%	3,256	3,113	104.6%
合計	607,451名	633,136名	95.9%	25,408	25,462	99.8%

② 喫茶・喫茶コーナー（自販機含む）

区分 施設名	喫茶利用者数			収入（単位：万円）		
	令和3年度	令和2年度	前年度比	令和3年度	令和2年度	前年度比
ピアハウスオアシス	3,545名	3,527名	100.5%	142	206	69.0%
ピアハウス摩耶1	—	696名	0.0%	0	2	0.0%
ピアハウスポーアイ	—	581名	0.0%	0	2	0.0%
ピアハウスポーアイ2	—	945名	0.0%	0	3	0.0%
ピアハウス六甲1	—	915名	0.0%	0	3	0.0%
合計	3,545名	6,664名	53.2%	142	216	66.0%

(注) オアシス喫茶営業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、17:00以後の営業を中止としております。

(注) 令和3年3月末時点で労休所喫茶コーナーの自動販売機が撤去となりました。

③ 神戸ポートオアシス ホール・会議室

区分 施設名	利用日数			収入（単位：万円）		
	令和3年度	令和2年度	前年度比	令和3年度	令和2年度	前年度比
多目的ホール	93日	42日	221.4%	—	—	—
会議室（502・503）	260日	200日	130.0%	—	—	—
合計	353日	242日	145.9%	—	—	—

(注) 収入については神戸市（指定管理）

(注) 令和3年4月25日～5月11日まで全館貸出停止といたしました。

④ 自動販売機イトインコーナー（24時間）

区分 販売品別	販売個数			収入（単位：万円）		
	令和3年度	令和2年度	前年度比	令和3年度	令和2年度	前年度比
飲料水自販機	22,066本	17,910本	123.2%	79	64	124.2%
ヌードル自販機	1,664個	1,272個	130.8%	1	1	130.8%
食品・パン自販機	3,770個	2,920個	129.1%	2	2	131.0%
合計	27,500個	22,102個	124.4%	83	67	124.5%

(2) コンビニエンスストアの事業成績

施設名	利用者数			収入（単位：万円）		
	令和3年度	令和2年度	前年度比	令和3年度	令和2年度	前年度比
ピ ア 兵 庫 店	238,141 名	244,060 名	97.6%	16,789	16,104	104.2%
ピ ア 六 甲 店	250,249 名	243,578 名	102.7%	16,321	15,403	106.0%
合 計	488,390 名	487,638 名	100.2%	33,109	31,507	105.1%

(3) 住宅施設の利用状況

施設名	戸 数	利 用 戸 数		
		令和3年度	令和2年度	前年度比
コ ー ポ 西 町 住 宅	40 戸	13 戸	12 戸	108.3%
一 ッ 罫 山 住 宅	196 戸	103 戸	113 戸	91.2%
国 産 波 止 場 住 宅	165 戸	143 戸	143 戸	100.0%
合 計	401 戸	259 戸	268 戸	96.6%

(4) 契約保養施設利用状況

施 設 名	本 人	家 族	総 数	補 助 金 額	前年度比
神戸市関係保養施設	名	名	名	円	0.0%
兵庫県関係保養施設	199 名	41 名	240 名	679,000 円	63.9%
協議会・かんぼの宿	名	名	名	円	0.0%
日港福関係施設	158 名	87 名	245 名	648,000 円	171.4%
一般旅館施設	311 名	25 名	336 名	983,000 円	84.9%
国民宿舎	30 名	4 名	34 名	98,000 円	264.8%
合 計	698 名	157 名	855 名	2,408,000 円	89.9%

(5) 港湾福利分担金の収入状況

年 度	第1次交付金額	施設整備資金
平成23年度	174,462,970 円	93,120,000 円
平成24年度	169,828,213 円	98,490,000 円
平成25年度	168,287,173 円	98,230,000 円
平成26年度	193,225,498 円	90,180,000 円
平成27年度	213,305,821 円	86,130,000 円
平成28年度	213,306,967 円	106,380,000 円
平成29年度	215,577,603 円	103,830,000 円
平成30年度	209,087,742 円	117,310,000 円
令和元年度	202,967,736 円	71,610,000 円
令和2年度	191,455,944 円	81,341,000 円
令和3年度	203,194,748 円	95,609,000 円